



- 工房まる、田村のアトリエ作品展 -

## 出品目録

会期：2025年1月24日（金）～3月6日（木）

会場：西南学院大学博物館1階特別展示室／廊下

主催：西南学院大学博物館

協力：工房まる 田村のアトリエ

\*展示室内は写真撮影可能です。ただし、フラッシュや三脚を用いたの撮影、動画撮影はご遠慮ください。撮影した写真については、個人利用に限りご使用いただけます。

\*作品保護のため、作品やケースにお手を触れたり、ケースに寄りかかったりしないでください。

\*作品 No. は展示解説左上の番号と一致しています。

No.	作品名／パネル名	制作年／制作者／素材・形態	大きさ (cm)	点数	コメント
1	魔法の世界世界ひみつ部屋	2020年／大隈隆広／ペン、色鉛筆、画用紙、パネル	縦 60.0、横 90.0	1	人知れず魔法をかけられた街パリ。真剣に戦う刀。不思議な魔法の夢の中。パリではなく、誰がいるのかも知らず。3人の仲間を守るために刀を持って戦います。イメージで描いた世界。見て楽しんでください。
2	メンコリアン（フラメンコ踊る女）	2023年／宮谷順子／墨、割り箸ペン、水彩絵の具、画用紙	縦 27.0、横 19.0	1	どうだ！！赤いドレス。愛する人を見つけるぞ。私の投げた槍が刺さった人を愛する。それがなかなか見つからない。どこで見つけたらいいの??私に教えてほしい。
3	カモナビビー	2023年／宮谷順子／墨、割り箸ペン、筆、画用紙	縦 27.0、横 19.0	1	ダンスのパートナーを探している。まだ見つからない。寂しいロンリネス。みつけた。一緒にいたら笑顔になる愉快な女。ラッキーハピネス。
4	割り箸ペン	-	-	-	作品制作に使われる割り箸を使用したペン。
5	必死	2023年／宮谷順子／墨、割り箸ペン、水彩絵の具、画用紙	縦 27.0、横 19.0	1	カッコいい演奏者。素敵な演奏者。コントラバスってベースなの?低い音が出る楽器ってカッコいい。必死にそして優雅に弾く姿にほれる。「第九」が聞こえてきそう。
6	ダンボールピース	2014年～現在／水沼海斗／ダンボール、ボスカ	-	-	僕がダンボールに出会ったのは小さい頃にダンボール箱をハサミで解体してワクワクしたときです。ハサミで切ったり、カッターでカットしたりしているいろんな形を切り出そうとしました。最初はカットと塗るだけでしたが、今はメンコやキャラクターを作ったりしています。いつかダンボール作品の個展を開いてみんなと作品作りをしたいです。
7	ウミからあがったセイブツ	2024年／MASAKAZU／ペン、色鉛筆、画用紙	縦 15.0、横 10.0	1	自分の中から勝手に湧き上がって描いた。イカでもタコでもない。足は9本。目は3つ。はて、さて。「おれは寝とるんだぞ～」 「ドカンと一発。爆発しよ～うよ～（笑）」
8	お父さん、お母さん寝かせて欲しいよ～	2024年／MASAKAZU／ペン、色鉛筆、画用紙	縦 15.0、横 10.0	1	鳥の子供が中に入ると、「早く出たい!」と言っている。親鳥は「え～?もう少し、待ってよ～」と言っている。
9	早く家に帰るよ～	2024年／MASAKAZU／ペン、色鉛筆、画用紙	縦 15.0、横 10.0	1	鳥「早く家に帰るよ～」鳥「はい!」鳥「待って待って～お父さん、お母さん。」
10	夕陽の漁船	2024年／MASAKAZU／ペン、色鉛筆、画用紙	縦 19.0、横 27.0	1	最初は夜のイカ釣り漁船と海だけやったけど、夕陽を描いて、防波堤も描いて。猫も描いて。そしたら猫が笑ったちゃん。ネコッとね。
11	色鉛筆	-	-	-	色鉛筆をここまで使いきる。その彼女のモノを大事に大切にしている気持ちが現れたモノ。彼女は使い切ったら捨ててしまうけれど、こんなステキな作品捨てるのはもったいない。
12	お花畑	2024年／佐伯綾香／ペン、色鉛筆、画用紙	縦 27.0、横 38.0	1	いろんな花をたくさん描いていたらお花畑みたいになりました。花びら一枚、一枚カタチをよくみて描きました。小さい花をまで描くことは大変だったけど、色を塗るのはすごく楽しかったです。
13	プラハ	2018年／佐伯綾香／ペン、色鉛筆、画用紙	縦 38.0、横 27.0	1	珍しい形や色の建物が気に入ってます。夕方から夜になる空。ピルの窓の形も窓の明かりもいろいろあっておもしろい。空と明かりの色を楽しんでください。
14	わっしょい わっしょい!!	2022年／佐伯綾香／ペン、色鉛筆、画用紙	縦 54.0、横 38.0	1	飾り山を見ると夏が来たなと思います。飾り山の人物や周りの花や装飾など一つ一つ丁寧に表現しました。山笠の華やかで賑やかな雰囲気を感じてもらえたら嬉しいです。
15	山びこが出来そうな街	2024年／佐伯綾香／ペン、色鉛筆、画用紙	縦 38.0、横 54.0	1	外国の街。屋根はまるかったり、三角だったり、長四角だったりいろんな形がある。私が好きな建物は「ドーム」と呼ばれるらしい。空が広くて山が高く連なっていて、なんだかやまびこができそうな街。
16	百鬼夜行	2024年／田中豪／ボールペン、色鉛筆、画用紙	縦 27.0、横 38.0	1	この中に登場する妖怪たちは僕が考えたオリジナルの妖怪キャラクター。おどろおどろしい感じではなく、楽しそうな感じで描きました。お祭りのようなイメージです。いろんな色、表情の妖怪は1匹1匹それぞれのキャラクターの個性が出るように描きました。

17	ギガント インペラトル	2024年/田中豪/ポスカ、色鉛筆、画用紙	縦 38.0、横 27.0	1	僕の頭の中にある空想上の恐竜。体の手足、胴体、頭で鱗の形がそれぞれ違います。これは成長した大人のギガント インペラトルです。
18	トカゲ男	2024年/田中豪/ダンボール、軍手、アクリル絵の具、割り箸	—	1	ヒーローものに出てくるあんまり強くない怪人「トカゲ男。」昭和風のダサカッコイイ悪者です。必殺技はトサカを外して投げる「トサカカッター」
19	パグ 7	2009年/末次たけし/ペン、色鉛筆、画用紙	縦 24.4、横 35.2	1	"もともと昔から犬が好きで、その中でもぶさかわいいパグが大好きです。暇があるとパグ動画とか見て楽しんでいました。パグの仕草を見ると、絵にしたいなと思ってきて。気に入った仕草をいろいろと描いていたうちの一つです。パグは周りからも結構人気でさらに描くのが楽しくなって、パグを描き続けているところです。パグに名前をつけようと思ったけれど、「パグ」っていう響きが可愛くて、それでよくない?と思っています。これからも「パグ」を可愛がってください。TAKESHI さんのパグは地下鉄七隈線の歩きスマホを注意喚起する看板にもなっています。"
20	サブールな男たち	2015年/末次たけし/ペン、コピック、色鉛筆、画用紙	縦 27.0、横 38.0	1	世界一お洒落なジェントルマンたちは、1ヶ月の収入をはるかに上回る高級なスーツを身に纏う。「服が汚れるから戦わない」という平和的なメッセージ。こんなカッコ良くこの作品にもメッセージを込めたい。
21	サン・サン	2017年/末次たけし/アクリル、ペン、コピック、画用紙	縦 38.0、横 27.0	1	人物を大きく見せたいと思ってデザインしました。太陽の下で颯爽とお出かけ。カラフルな装いで、ビビットなカラーで明るい夏をイメージ。誰かが振り返ってみてくれたら嬉しいです。
22	漫画	2019年/堀博/Gペン、油性マジック、製図用ペン、修正液、原稿用紙	縦 31.0、横 22.0	1	漫画家を目指しています。コマ割りや文字の量、配置などを考えて描いた思い入れ深い作品です。「ケンカ」が主題の作品で、色々試してみたいのですが、自分の主観と読者の客観の認識のずれを把握することがなかなか難しく、考えさせられた作品です。ペンネームは「Fuzzy、あいまいな」という意味で若干曖昧な、森は本名の「ほり」を文字で森としました。
23	セキセイインコ	2024年/堀博/水性ペン、蛍光ペン、マジック、画用紙	縦 27.0、横 38.0	1	急性腎不全で緊急入院して、退院して描いた2番目の作品です。より太い線で輪郭を取ってみようと思い、描いた作品。いつもは色鉛筆やマジックなどの画材を使って描いていたので、今回は蛍光ペンなど使って着色してみました。色鮮やかなインコたちを表現するのが難しかったが、インコたちが囀っている情景が浮かんできたら嬉しく思います。
24	追いつめられた男	2024年/堀博/油性マジック、水性ペン、画用紙	縦 38.0、横 27.0	1	急性腎不全で緊急入院して、退院して描いた一番最初の作品です。下書きせずに、太い線でダイナミックに表現していこうと思って描いた作品。ダイナミックに描こうと思っていたけれど、そう思っただけでも実際描いてみると難しいものだなと思いついた作品でした。
25	世界のグルメとたて物 (アメリカの仏ぞうとチーズほんにゅうと中からカレー)	2020年/大成楽/水性ペン、色鉛筆、画用紙	縦 27.0、横 38.0	1	世界の建物と食べ物です。オーストラリアのドームとお肉はカンガルー。そしてイタリアのトマトソースパスタ。僕はチーズフォンジュが一番食べたいから、スイスに行ってみよう。
26	パンシリーズ (サンドイッチとマルゲリター)	2021年/大成楽/ペン、色鉛筆、画用紙	縦 27.0、横 38.0	1	色々なパンのパンシリーズ。僕が好きなのはサンドイッチ。特にレタスサンドが好き。他には焼きそばパン。コンビニのタマゴサンドでしょ。いろいろありすぎて迷いそうです。みんなの好きなパンは何ですか??
27	道シリーズ	2019年~現在/大成楽/ペン、色鉛筆、画用紙	縦 27.0、横 38.0	6	2019年にスタートした大成さんの道シリーズ。天国の世界からスタート。現在作品は99枚目を作画中。最後の一つ前は「地獄のミュージアム」と話す大成さん。作品の説明をし始めたら、この道シリーズと同じように終わることのない解説のはじまりです。
28	モナコ公園F1グランプリのみどころ	2021年/山中孝志/ペン、色鉛筆、画用紙	縦 38.0、横 27.0	1	テレビで見た大好きなF1グランプリ。車の走る姿、エンジン音が聞こえてくるようにリアルに描きました。モナコの街並みと後ろの山々の景色も印象的でした。ここが一番の見どころです!
29	昔の下関と今の下関を橋でつないでみた	2022年/山中孝志/水性ペン、クーピー、画用紙	縦 54.0、横 38.0	1	僕の故郷山口。今いる福岡と山口を繋いでいる関門海峡を描こうと思いました。描いているうちに昔の下関、今の門司にイメージが広がり、今と昔を繋いでみようと思いついた作品です。
30	く〜た面王の店 仲間と行く	2017年/大隈隆広/色鉛筆、鉛筆、ペン、画用紙	縦 27.0、横 38.0	1	僕のお気に入りのラーメン屋さん。とんこつ!みそ!しお!しょうゆ!いろいろな味のラーメンと坦々麺も。僕のおすすりは。アトリエのみんなもラーメンが好き。いつか僕のお気に入りのラーメン屋さんに行こうね!
31	キリンの嵐の中	2021年/大隈隆広/鉛筆、色鉛筆、ペン、画用紙	縦 54.0、横 38.0	1	キリンの世界をイメージして描きました。森の中にいるキリンが夕方の竜巻の中を歩いています。葉っぱがたくさん落ちています。嵐の雷にあっているけど、楽しんでいるみたいです。好きな色を使ってカラフルな竜巻にしました。僕はキリンの色が好きです。色は自分で決めています。ゆっくりと自分のペースで絵を描いています。色はていねいにゆっくりぬっていきました。好きな音楽をききながら描いています。